

信頼と安心を基盤に、専門的かつ高度な医療をみなさまに。



- 建物名称
- 1 本館
 - 2 東病棟[3~6階]
 - 3 西病棟[3~6階]
 - 4 外来管理・治療棟
 - 5 南病棟
 - 6 駐車場

各階のご案内

東病棟	RF	西病棟
一般混合病棟 [整形外科・小児科 他]	6F	一般混合病棟 [整形外科 他]
休 棟	5F	緩和ケア病棟
休 棟	4F	一般混合病棟 [内科・消化器科・呼吸器科]
循環器疾患病棟 [脳神経外科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科 他]	3F	循環器疾患病棟 [外科・婦人科 他] 手術室・血管造影室・集中治療室(ICU)
管理・医局部門	2F	臨床検査科・臨床研究部・研修室
重症心身障害児(者)病棟	1F	外来部門
エネルギー部門・車庫・豊安解部部門	BF	薬剤科・病歴管理室・R1室・放射線治療室 (リニアック)・サービス部門・栄養管理室

交通アクセス



公共交通機関

- JR東海道本線/新幹線/名鉄豊橋駅下車
豊鉄バス/飯村岩崎線(本興寺経由赤岩口行)・岩田団地線(内原経由豊橋医療センター行)
[3番線乗り場]にて25分[6.5km]豊橋医療センター下車
- JR東海道本線二川駅下車
東海交通(株)東部東山線(コミュニティーバスにて15分)
[4.2km]豊橋医療センター下車
- 自家用車/国道1号線・殿田橋交差点を東へ5分[2km]
- タクシー/豊橋駅より約20分

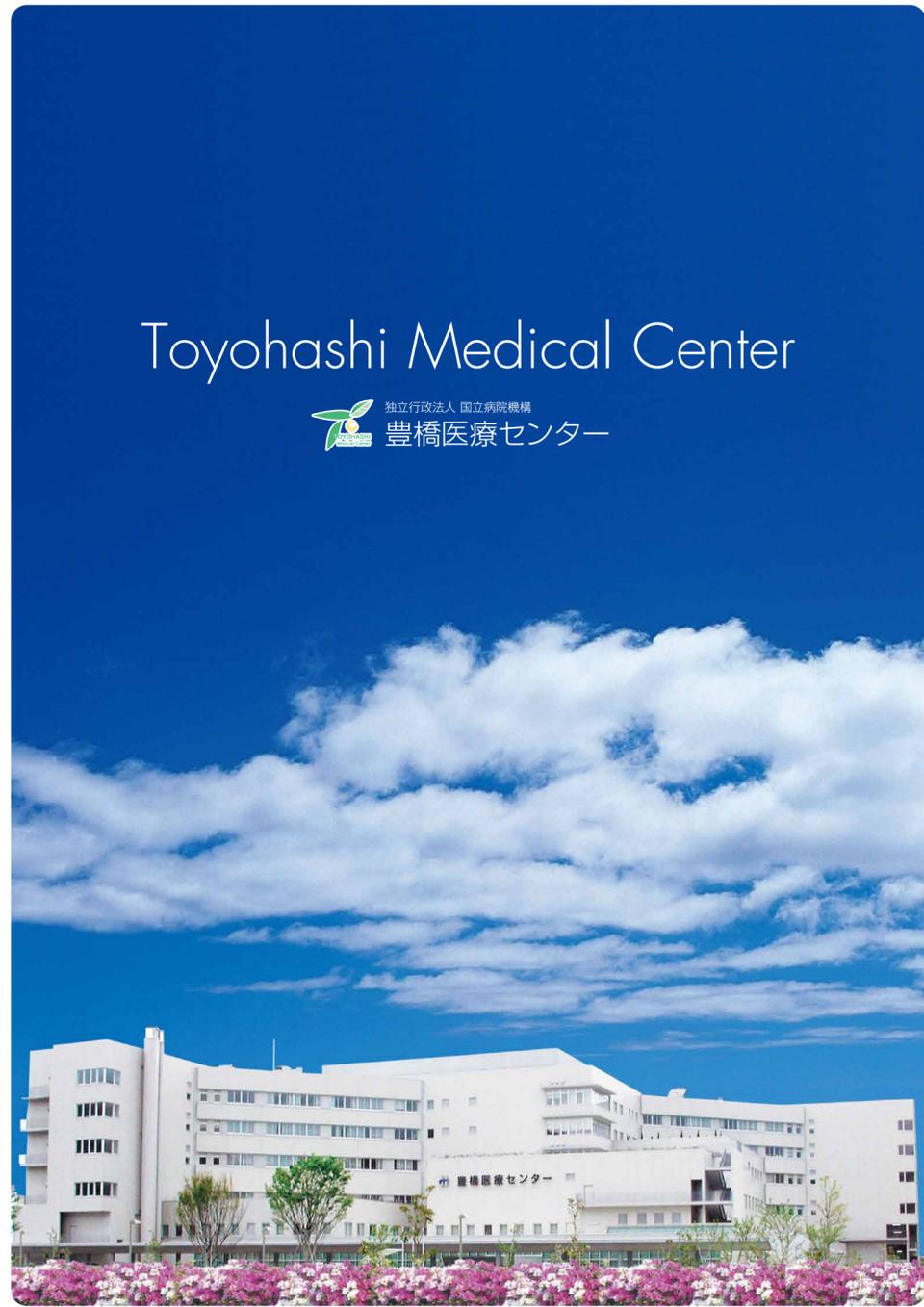


独立行政法人 国立病院機構
豊橋医療センター

〒440-8510 愛知県豊橋市飯村町字浜道上50番地
TEL.0532-62-0301 FAX 0532-62-3352
ホームページ <https://toyohashi.hosp.go.jp/>



Toyohashi Medical Center



- 理念** 私たちは、心のかもった医療を提供します
- 基本方針**
- ・ 満足していただける医療を提供し、信頼される病院をめざします
 - ・ 基本的人権を尊重し、必要な情報を提供します
 - ・ たゆまぬ研鑽に務め、すべてにおいて良質で安全な医療を提供します
 - ・ 地域と連携し、患者さんとご家族を支援します
 - ・ 安定した健全経営を維持するための努力と意識を持ち続けます

沿革

- 独立行政法人 国立病院機構
豊橋病院
- 明治41年 豊橋衛戍病院として創設(のちに豊橋陸軍病院に改称)
 - 昭和20年12月 厚生省に移管。国立豊橋病院として発足
 - 昭和32年 7月 医療法による総合病院となる
 - 平成16年 4月 独立行政法人国立病院機構 豊橋病院に改組
- 独立行政法人 国立病院機構
豊橋東病院
- 昭和10年12月 豊橋市高山病院として創設
 - 昭和22年 4月 厚生省に移管され国立療養所大府荘の分院となる
 - 昭和25年 4月 大府荘分院より独立、国立高山療養所となる
 - 昭和50年 4月 国立療養所豊橋東病院と改称
 - 平成16年 4月 独立行政法人国立病院機構 豊橋東病院に改組
- 平成17年 3月 独立行政法人国立病院機構 豊橋病院と統合し、独立行政法人国立病院機構 豊橋医療センターとなる
 - 平成19年 9月 臨床研修病院(基幹型)指定
 - 平成29年 3月 (財)日本医療機能評価機構認定(一般病院2 3rdG:Ver.1.1)
 - 平成30年 7月 電子カルテ導入



医療体制

「がん、循環器疾患、骨・運動器疾患、重症心身障害、緩和ケア」の専門的な医療を推進するとともに、臨床研究、教育研修及び情報発信の機能を備えた施設として、より充実した地域医療への貢献も進めています。また、救急医療についても病院群輪番制に積極的に参加し、地域の要望に応えるべく救急体制を構築しています。



高度専門医療

最新鋭装置の導入や東三河地区初の緩和医療施設の整備、手術室に隣接した集中治療室(ICU)の配置等、患者さんにきめ細かな医療を提供し、患者さん本位の医療を実現するため、資質の向上をめざしています。



外来紹介

地域医療機関との緊密な病診(病病)連携を基本として、23診療科の連携のもとで専門的かつ総合的外来診療を行います。また、外来診療部門と受付業務の効率化により、患者さんの負担を軽減、プライバシーを配慮した配置になっています。



病棟紹介

患者さんの症状や治療のタイプにあわせて、各種専門病棟を設置しています。各病棟では、専門分野の医師・看護師やスタッフが、患者さんの立場に立って対応いたします。

各領域の専門医による高レベルな医療と、その密なる連携をめざして。

がん医療について

先進的な診療により、地域のがん医療のセンター的役割を担うように努め、QOL(生活の質)を重視した診療を行います。胃がん、大腸がんはもとより、肝臓、胆嚢、膵臓やその他の消化器がん、乳がん、前立腺がん等あらゆる臓器のがん、白血病、悪性リンパ腫などの血液悪性疾患全般を対象としています。高度で専門的な医療に基づく的確な診断のもと、手術療法を中心に化学療法やその他の治療を組み合わせた集学的治療を行います。早期がんから進行がん、再発や転移等のあらゆる段階において、関連する診療科と協力し対応していきます。さらに、緩和ケア病棟(ホスピス)の設置により、初期から終末期まですべての病期において、身体的な治療に加え、精神的な側面の苦悩に対するケアとサポートをチームとして提供し、患者さんとのコミュニケーションを大切に、ご家族のケアにもあたります。加えて、地域医師会との連携により、在宅ケアネットワークの構築もめざします。

緩和ケアについて

がん疾患の末期の患者さんを対象に、専門チームが特色ある心のごもった医療・看護を提供しています。また、介護ボランティア、パフォーマンスボランティアなど外部からの支援も積極的に受け入れて運営しています。東三河地区で唯一の施設であり、西5階は全室個室の24床、東5階は一部個室の24床で運営しています。平成19年3月に病院機能評価の認定を受けたことにより同年4月より緩和ケア入院料の施設基準を取得しています。

臨床研究部について

循環器病、内分泌・代謝性疾患等の専門施設の中で、特に循環器医療に関する臨床研究に重点を置いています。国立病院機構研究ネットワークを活用した多施設共同研究、治験研究も行います。また、がん病態治療研究室、脳血管障害研究室、骨・運動器疾患研究室、動脈硬化病態治療研究室、治験管理室を設けています。

循環器疾患医療について

心臓血管疾患については、24時間体制で高度・専門的医療を行います。虚血性心疾患、弁膜症、心筋症、不整脈疾患、心不全、高血圧症、閉塞性及び拡張性動脈疾患、静脈疾患等に対し、薬物、血管内治療及び外科手術等による治療を複合的かつ集学的に提供し、安全・低侵襲な治療を行います。また、内科(糖尿病)、心臓リハビリテーション、栄養部門等、多面的かつ総合的な治療と援助を行います。高齢化が進む脳血管障害(脳卒中)等に対しては、脳神経外科、神経内科の医師を中心に、専門ナースほかリハビリテーションの専門スタッフが一丸となりストロークユニット(専門家チーム)を形成し、24時間体制にて超早期より高度かつ専門的医療(血管内治療及び開頭術)を実施することにより、後遺症を残さない早期治療を行います。その他の脳神経外科疾患としては、特に外傷を含めた救急疾患についても積極的に診療します。脳ドックも開設しています。

骨・運動器疾患医療について

整形外科では、年間1千件の手術を実施するとともに、低侵襲手術の導入、人工関節置換術、生物学的製剤を使用したリウマチ疾患治療など、特色のある治療を行っています。また2次救急医療を担当していることにより、数多くの骨折等多様な外傷患者が搬送されていますが、専門医指導施設として全国水準の加療を行っています。

重症心身障害児(者)医療について

超重症児を含めた重症心身障害児(者)の専門医療を行います。短期介護事業などの在宅重症児を対象とした地域支援を行います。小児科、神経内科を中心に全診療科・全診療部署の協力の下に診療・療育を行います。

教育研修について

医師会主催の講演会に参加し、専門医療従事者に対する医療の向上に寄与するため、病診(病病)連携カンファレンス・救急隊員への講習を定期的に開催します。糖尿病研修会、循環器病、がん、その他の疾患について各種医療スタッフの研修、専門分野講師による院内カンファレンスの開催、各種ネットワークの活用によりハード・ソフト両面から医療技術の充実・強化を図ります。また、地域住民を対象とした生活習慣病を主とした講習会を開催し、予防医学の面からもサポートします。院内においては医療安全に関する職員研修を実施し、医療事故の防止に努めるとともに、症例検討会を実施し、医療の質を高めます。

救急医療について

高度医療と早期治療を必要とする循環器疾患(脳血管障害を含む)に対しては、24時間体制で機能するとともに、その他の救急疾患についても、地域の要望に十分応えられるような救急体制を整え最善を尽くします。また重度の外傷、複雑・多発外傷等にも全診療科の総力をあげて対応します。

診療科[23診療科]

内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器内科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科

病床数[388床]

一般348床(緩和ケア48床含む)、重症心身障害児(者)40床



放射線治療(リニアック)
高エネルギー放射線治療装置(リニアック)を導入。画像誘導機能(位置ズレを確認画像により自動補正できる)により、精度の高い、安全で安心な放射線治療を行います。



CTシミュレータ
放射線治療計画用64列CTを導入。診断用CTの故障時、点検時のバックアップ体制も万全です。



MRI
磁力を用い、身体をさまざまな方向から見た断画像で診断します。



CT
人体のあらゆる部位の断画像が瞬時に得られます。臓器を立体的に見る画像も作れます。



SPECT(アイソトープ検査)
脳・心臓の血流を画像化したり、骨の代謝や腫瘍の診断等ができます。



手術室
院内感染防止のためのクリーンルームを設置し、安全で安心できる手術を目指しています。



血管連続撮影室
血管内を撮影し、病変を見つけたし治療を行います。



内視鏡室
食道、胃、十二指腸、大腸などの中を見る装置で早期癌の発見に効果的です。

看護部

安心と安全をモットーに、知識・技術を磨き、人間性豊かな看護実践を大切にしています。特に専門領域の看護に主体的に取り組み、責任ある患者サービスに努めています。

現任教育

独立行政法人国立病院機構における看護実践能力開発プログラム「ACT y ナース」に沿った現任教育計画に教育環境を整え、専門職としての成長発達を支援します。

最先端の医療環境のもと、より高度な知識、技術による医療を。

栄養・服薬・生活指導等も充実、医療福祉専門員による相談窓口も設置。



外来ホール
訪れた患者さんの心も落ち着く開放的なインテリア・外装デザインを採用し、初めての患者さんでも迷わない総合案内を設置しました。再来の患者さんには再来受付機でスピーディーに対応いたします。



救急診療室
一次救急患者さんをはじめ症状が重く入院・手術が必要と診断された患者さんへ、万全の体制で受入れます。



採血・中央処置室
採血等の検査がスピーディーに行えるように、各診療科との位置関係を考慮して配置しました。



外来カウンター A・B・C



リハビリテーション



売店



ICU
手術の終わった患者さんや重症の患者さんの不安定な時期を、24時間体制で医師と看護師が治療します。



緩和ケア病棟(特室)
医師・看護師・薬剤師等がチームを組んで、患者さんの身体的・精神的苦痛、症状をやわらげます。



スタッフステーション
広々としたオープンカウンターが設置され、患者さん・ご家族方としっかり向かい合いながらお話しすることができます。



一般病棟(個室)
4人床よりも広く、より設備が整っており、患者さんのプライバシーを守ります。



一般病棟(4人床)
明るく静かでぬくもりのある治療空間、専門スタッフがきめ細やかに対応します。



屋上庭園
屋上に緑を確保することで、患者さんの療養環境に配慮しました。



重症心身障害児(者)病棟
重度の障害をもった入院患者さんを、病状・心身の状態に合わせて専門スタッフが診療・ケアします。



病棟食堂
眺望のよい明るい病棟食堂。入院中の食事やご面会にご利用いただけます。